

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 2 例(感染地域:ネパール 1 例、マダガスカル 1 例)、腸チフス 1 例(感染地域:インド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 38 例(うち有症者 25 例、HUS 1 例)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:神奈川県 12 例\*、岡山県 5 例 \*うち 10 例は、第 46 週に続く幼稚園に関連した集団発生 年齢群:10 歳未満(19 例)、10 代(3 例)、20 代(5 例)、30 代(3 例)、40 代(2 例)、50 代(2 例)、60 代(1 例)、70 歳以上(3 例) 血清型・毒素型:O26 VT1(14 例)、O157 VT1・VT2(10 例)、O157 VT2(8 例)、O26 VT1・VT2(1 例)、O128 VT1・VT2(1 例)、その他/不明(4 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 1 例(感染地域:茨城県)、狂犬病 1 例(感染地域:フィリピン、感染源:イヌ)、つつが虫病 18 例(感染地域:千葉県 3 例、青森県 2 例、福島県 2 例、静岡県 2 例、広島県 2 例、高知県 2 例、神奈川県 1 例、富山県 1 例、岐阜県 1 例、大分県 1 例、鹿児島県 1 例)、日本紅斑熱 1 例(感染地域:熊本県)、マラリア 1 例(熱帯熱 感染地域:ナイジェリア)、ライム病 1 例(感染地域:北海道)、レジオネラ症 11 例(すべて肺炎型)[年齢群:50 代 2 例、60 代 3 例、70 歳以上 6 例 感染地域:長野県 3 例(うち 1 例温泉)、北海道 2 例、富山県 2 例、静岡県 1 例(温泉)、広島県 1 例、宮崎県 1 例、国内(都道府県不明) 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 7 例(腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 6 例、マレーシア 1 例 感染経路:経口 3 例、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 2 例(ともに B 型 感染経路:性的接触 2 例(異性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例))、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例(ともに孤発性プリオン病古典型)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例(血清群:B 群、70 代)、後天性免疫不全症候群 12 例(無症候 9 例、AIDS 2 例、その他 1 例)[感染地域:すべて国内 感染経路:すべて性的接触(異性間 6 例、同性間 6 例)]、梅毒 4 例(早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 1 例、無症候 2 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例(遺伝子型:VanC\_\_菌検出検体:血液)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(1.07)、広島県(0.57)、沖縄県(0.31)、大分県(0.17)が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 631 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 76%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 42 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では富山県(1.5)、北海道(1.3)、長崎県(1.1)、長野県(1.1)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微増し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道(4.2)、鳥取県(3.8)、新潟県(3.3)、富山県(2.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 39 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では富山県(42.4)、群馬県(33.8)、三重県(33.5)、福井県(33.2)、宮崎県(32.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は第 43 週より増加が続いている。都道府県別では福井県(3.2)、群馬県(2.6)、宮城県(2.5)、北海道(2.3)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 42 週以降、減少が続いている。都道府県別では山形県(2.9)、大分県(1.5)、秋田県(1.1)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県(1.03)、宮城県(0.93)、富山県(0.62)が多い。百日咳の定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では徳島県(0.06)、広島県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では栃木県、東京都、兵庫県、広島県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は 3 週連続して減少した。都道府県別では宮城県(0.31)、岩手県(0.15)、福島県(0.10)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では、岡山県から 1 例の報告のみであった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 2 週連続で減少した。都道府県別では新潟県(2.6)、青森県(2.0)、長野県(1.8)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では埼玉県(2.7)、大阪府(2.5)、沖縄県(2.1)が多い。成人麻しんは、東京都から 1 例の報告があった。

	小児科定点											眼科定点		基幹定点									
	1) イン フル エン ザ	RS ウイ ルス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	菌 咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	麻 し ん	2) 流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	3) 細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	4) マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎	成 人 麻 し ん	
(定点当たり)																							
愛媛県	.1	.2	2.2	21.9	1.4	.7	.4	1.1				.1		.5		1.9				1.0			
近 畿 道	香川	.3	.1	.6	20.4	1.5	.3	.2	.8			.0		.3	.3	.7							
	徳島	.2	.1	.6	12.8	1.4	.1	.1	.6	.1				.7									
	高知	.0	.0	2.4	13.0	1.1	.1	.0	.3					.6				.3		.4			
全 国	.1	.2	4.4	19.8	1.4	.5	.3	.6	.0	.0	.0	.0	.8	.0	.6		.0	.0	.6	.0	.0		
北 海 道	.4	1.3	4.2	6.1	2.3	.9	.5	.5	.0			.0		1.1		.7			.0				
東 北	.0	.2	.5	11.1	2.0	.9	.6	.5	.0			.1		1.2	.0	.5	.0	.0	.7	.0			
関 東	.0	.2	.2	1.7	21.0	1.3	.5	.4	.6	.0	.0	.1		.6	.0	.7	.0	.0	.9	.1	.0		
甲 信 越 北 陸	.0	.1	.8	2.2	19.5	1.5	.7	.4	.5			.0		1.4	.0	.5			.9	.0			
東 海	.1	.0	.3	1.5	25.5	1.3	.3	.5	.6	.0		.0		.7	.3	.0			.7				
近 畿	.0	.2	.2	1.3	22.7	1.2	.3	.2	.5	.0	.0	.0		.8	.0	.4	.0	.0	.6	.0			
中 国 四 国	.1	.3	.2	1.6	21.4	1.3	.2	.1	.7	.0	.0	.0	.0	.6	.0	.7	.0	.0	.3	.0			
九 州 沖 縄	.2	.4	.4	1.6	18.0	1.3	.7	.1	.8	.0		.0		.9	.0	.9	.0	.0	.3	.0			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(11月29日集計)

全国 全数把握感染症 第47週 (2006.11.20 ~ 11.26)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																								
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第47週報告数	全 国		2	1		38			1				1		18		1					1						7	2			2	1	12					4		1				
	四 国	愛 媛 県																																											
		香 川 県					1																																						
		徳 島 県					1																																						
		高 知 県														2																													
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道			1		1																			1	2						1												
		東 北 関 東		1			17			1				1		4						1				2		3	1					1						1			1		
		甲 信 越 北 陸					1									1											4																		
		東 海 近 畿					3									3										1		2																	
		中 国 四 国					7									4											1																		
九 州 沖 縄			1			8									2		1									1		1														2			
週 推 移	全 国		2	1		38			1				1		18		1				1			1	11		7	2			2	1	12						4			1			
	47週		2	1		38			1				1		18		1				1			1	11		7	2			2	1	12						4			1			
	46週		3			49	2		3	1	1				24	2	2					1			3		11	1	2			1	1	10					6	1		2			
	45週		5	2		35	1								15		1								4	3	8	7			2	1	12	1					6			2			
44週	1	8			66			4						7	2	4							1	1		5	2	3			2	1	9					5							
2006年累積数	全 国	46	442	67	22	3680	61		305	20	21	2	2	2	268	53	44	7	5		2	57		12	459	23	673	254	143	15	157	98	1180	80	13			560	108		67				
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4						1		8								2		4	4	1	1	3		6					4	1					
		香 川 県					20			1		3	2													3		3		1			1	4					12						
		徳 島 県					49			1								1										5			1								4	1					
		高 知 県		2	1		3			3						3		3	1									2	4	1				3				26	1						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	3		78	18		13	19					1									3	18		24	4	8	3	7	7	25	1				8	6		2			
		東 北 関 東	2	16			370	2		10		3				128						1		1	4		29		23	20	5	6	4	33		2		36	3		4				
		甲 信 越 北 陸	7	36	3	2	299	6		24		1				46	3								2		16	18	13	1	20	5	47	3	1			24	7		4				
		東 海 近 畿	5	38	8	3	439	5		38	1	2				16	7	1						4	2	72		79	28	16		19	14	142	3	1		62	8		10				
		中 国 四 国	4	16	3		386	3		39		3	2			21	1	16	2									32	28	19	1	19	7	39	4			66	14		4				
九 州 沖 縄		4	38	4		686	6		27						26	5	18	5									33	24	18		19	3	56	7	2		114	31		5					

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.11.29集計)